

のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)事業進捗状況評価表3(重点事業のみ)

1-4. 普及啓発を推進し、子どもの権利がいかされる社会環境づくりを進めます

番号	事業名称 (担当課)	事業の内容	参考指標	実績						計画(年度)/実績(数値があるもののみ)		結果(年度)	
				H30	R2	R3	R4	R5	R6	R3			
1	子どもの権利の広報活動 (児童青少年課) ＜重点事業＞	ホームページやリーフレット等による周知・広報を行う。また新たな方法についても検討する。	周知・広報の実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続			結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容 市立小・中学校新一年生へリーフレットを配布した他、のびのび小金井っ子や保育園内など市の広報媒体へ掲載。その他、子どもイベントを実施する団体を後援する際、チラシへの掲載協力を依頼した。ただし、新型コロナウイルス感染症の影響で、子ども週間行事や市民まつり等イベント会場における広報活動は中止となった。 また、子どもオンブズパーソンの設置準備に伴い、パブリックコメントや子どもの意見聴取、市民説明会、公民館における子どもの人権講座準備など様々な機会に合わせて子どもの権利の周知の機会とした。青少年問題協議会においてコロナ禍における子どもの権利啓発リーフレットを発行、未就学児から中学生の保護者に対し、施設を通じて配布した。 次年度は子どもオンブズパーソンの開設に伴う周知活動と合わせて効果的に実施する予定。	
													子ども・子育て会議意見

目標2 子どものゆたかな体験と仲間づくりを支えます

2-3.子どもの居場所と交流の場を充実します

番号	事業名称 (担当課)	事業の内容	参考指標	実績						計画(年度)/実績(数値があるもののみ)		結果(年度)	
				H30	R2	R3	R4	R5	R6	R3			
1	子どもの居場所づくりの推進 (子育て支援課・児童青少年課) ＜重点事業＞	子どもの居場所に関するネットワークづくりを進めるとともに、子どもの居場所のあり方について関係者により継続的検討を行うことにより、子どもの居場所の推進体制を整備する。	子どもの居場所に関するネットワークづくり	—	実施	実施	実施	実施	実施			結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容 小金井子育て・子育て支援ネットワーク協議会による、子どもが今の自分の気持ちでいきたいところを検索できる子どもの居場所サイト「えにえに」の情報サイトの充実や子どものあそびばたんけんマップの作成に当たって協力し、その広報に努めた。 子ども・子育て会議に子どもの居場所部会(子ども・子育て会議の一部の委員で構成)を設置し、子どもの居場所について議論した。 令和4年度においても、子どもの居場所部会では引き続き議論し、子どもの居場所に関するビジョンを市と共同で作成することを目指す。	
			関係者による子どもの居場所のあり方の継続的検討	—	実施	実施	実施	実施	実施				
		子どもの居場所のあり方の検討を踏まえ、子どもや保護者が気軽に立ち寄れる地域の居場所づくりを推進する。どの家庭も孤立せず、地域とつながるように、地域全体で家庭を支援する環境を整備する。	子どもの居場所づくりの推進	—	検討	実施	継続	継続	継続				
2	児童館事業 (児童青少年課) ＜重点事業＞	子どもの健全育成として、小学生対象のグループ活動などのほか、中・高校生事業、子育て支援、子育てグループの活動支援などについて、閉館時間の延長も行い実施する。新たな児童館の整備を含めた児童館の在り方を検討する。	来館者数(人)	98,875	漸増 51,840	漸増 70,090	漸増	漸増	漸増			結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容 来館者数(人) 70,090人 開館延長時の利用者数(人) 12,793人 令和3年度も新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に努めながら事業運営を行った。令和3年度も引き続き中止したり、例年より大きく縮小した事業は多く、実施した事業についても基本的に通常の半数以下の定員を設けた。だが中には緊急事態宣言解除後の10月より少しずつ人数を増やして実施した事業もあった。児童館やその学年によるが、来館者数は概ね前年度より増えた。 同じく前年度を引き継ぐ形で、オンラインでできた謎を解きながら児童館を巡るという事業を夏休みに実施したが、期間中いつでも参加できることが裏目に出たのか、その反響は今一つだった。だが、その後10月、3月に都立公園で「肝試し」「逃走中」といったイベントを四館合同で実施したが、定員を3倍も超える申込があるなど人気を呼んだ。子どもたちが一堂に会するイベントを子どもたち自身が欲していたという裏れと受け取った。 これまでは事業ごとに行えるかできないかの検討だったが、令和4年度はすべての事業においてどうやったらできるかを検討すべき時期にあると考える。マスクの着用非着用、従来から子どもたちから人気のある調理や宿泊を伴う行事、遠足の公共交通機関の使用、など課題は多いが、少しずつ前進したい。	
			開館延長時の利用者数(人)	18,096	漸増 8,190	漸増 12,793	漸増	漸増	漸増				
													子ども・子育て会議意見

のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)事業進捗状況評価表3(重点事業以外の事業)

目標1 子どもの安心・安全を守ります

1-1. 子どもの権利を守るための相談及び救済窓口を充実します

番号	事業名称 (担当課)	事業の内容	参考指標	実績						結果(年度)	
				H30	R2	R3	R4	R5	R6	R3	
3	スクールカウンセラーの配置(指導室)	悩みなどを気軽に話し、心にゆとりを持てるような環境を提供するために、各小中学校にスクールカウンセラーを配置する。必要に応じ他機関と連携を図る。	相談回数(回)	11,228	維持 14,036	維持 12,500	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										相談回数(12500回) 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	
4	スクールソーシャルワーカーの派遣(指導室)	いじめ、不登校や虐待が疑われる児童・生徒及び問題行動傾向のある児童・生徒等への指導充実を図るため、専門的な資格を持つスクールソーシャルワーカーを派遣し、家庭や関係機関との連絡調整を行う。	相談件数(件)	86	維持 183	維持 366	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										訪問回数(回)	737
5	教育相談事業(指導室)	専門相談員による教育相談を実施し、各校の教育相談担当教諭や他機関と連携しながら、子どもが抱える様々な問題に対応する。また、子ども自身が電話やインターネットで相談できる体制を作る。	相談件数(件)	1,390	維持 1,752	維持 2,114	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										相談件数(2114件) 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	
6	子ども(子育て総合)相談(子育て支援課)	子どもの相談に応じ、必要に応じて関係機関と連携し、子育てのサポートなどを行う。	子ども家庭支援センターでの小学生以上の相談延べ件数(件)	1,507	漸増 2,181	漸増 2,803	漸増	漸増	漸増	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										子ども家庭支援センターでの小学生以上の相談延べ件数(件) 2,803件 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	
7	思春期相談(児童青少年課)	思春期の子どもからの相談に応じ、関係機関と連携を取りながら支援へつなげていく。	東児童館での思春期相談件数(件)	19	維持 21	維持 26	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										東児童館での思春期相談件数(件) 26件 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	

のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)事業進捗状況評価表3(重点事業以外の事業)

1-3. 犯罪等から子どもを守る環境をつくります

番号	事業名称 (担当課)	事業の内容	参考指標	実績	計画(年度)/実績(数値があるもののみ)						結果(年度)		
				H30	R2	R3	R4	R5	R6	R3			
1	子どもを犯罪から守る 防犯対策 (地域安全課)	ボランティアによる市内パトロールなど、子どもが安心して過ごせるまちづくりを行う。学校、保育所や学童保育所などで防犯対策に努める。	パトロール実施回数(回)	472	維持 351	維持 373	維持	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった	
			こがねい安全・安心メール配信件数(件)	37	維持 50	維持 145	維持	維持	維持	パトロール実施回数(373回) こがねい安全・安心メール配信件数(145件) 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容			
	同(保育課)		不審者対応訓練実施の保育園数(園)	12	漸増 13	漸増 19	漸増	漸増	漸増	漸増	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった	
			不審者対応訓練実施園 民間保育園 14園 公立5園										
			同(学務課)	小学校通学路への防犯カメラの設置台数(台)	43	漸増 11	漸増 56	漸増	漸増	漸増	漸増	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
				小学校通学路への防犯カメラの設置台数(台)56台 初年度設置したカメラの更新期間が近いため維持管理に事務量とコストを集中させたため。									
同(児童青少年課)	児童館及び学童保育所において訓練・研修会等を実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった		
	予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容												
2	子どもを見守る家(カインガルーのポケット) (指導室)	登下校時の不審者に対する一時的緊急避難所として「子どもを見守る家」の設置を促進する。	登録件数(件)	1,157	維持 1,075	維持 1,011	維持	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった	
			登録件数(1011件) 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容										
3	セーフティー教室 (指導室)	薬物、インターネットを利用する際に起きる被害、加害、不審者対策等について学び、危険回避・犯罪防止等の能力を育成する。	セーフティー教室、薬物乱用防止教室、情報モラル教育の実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった	
			予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容										

のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)事業進捗状況評価表3(重点事業以外の事業)

目標2 子どものゆたかな体験と仲間づくりを支えます

2-1.子どもの意思を尊重し、社会参加できる機会を提供します

番号	事業名称 (担当課)	事業の内容	参考指標	計画(年度)/実績(数値があるもののみ)						結果(年度)	
				H30	R2	R3	R4	R5	R6	R3	
1	児童館における意見箱の設置 (児童青少年課)		意見箱への投書数(通)	208	漸増 277	漸増 105	漸増	漸増	漸増	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										意見箱への投書数(通) 105通 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容 入館受付場所に意見箱を設置している館では、感染防止対策で検温等のため職員がはりついているため、以前よりも気軽に投書できなかったことや館で流す音楽のリクエストボックスを別に設置した館については、そちらに意見が流れたため。意見数が増えている館もあるため、引き続き意見を言いやすい環境整備に努める。	
2	じどうかんフェスティバル (児童青少年課)	子どもの考え方や意見を表明できる場を作り、尊重する。児童館内に意見箱の設置や児童館事業の実施、意見表明の場として各学校生徒会による意見交換会を実施する。	子どもの意見を反映した「じどうかんフェスティバル」の実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容 感染防止対策が取れないことから、大規模イベントとしてのじどうかんフェスティバルは実施できなかった。そのため、それまで子どもたちが主体的に企画運営からかわる、という部分だけ踏襲し、各児童館で子どもたちと会議を開き、謎解き問題を考え、それをホームページで公開し、謎を解きながら各児童館を巡ってもらい、オンラインとオリエンテーリングを合わせた行事を実施した。	
3	各種計画策定や事業実施時における子どもの意見聴取 (各課)		各種計画策定や事業実施時における子どもの意見聴取実施	検討	実施	拡充	拡充	拡充	拡充	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	
4	中学校生徒会による意見交換会 (指導室)		中学校生徒会による意見交換会の実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	
5	ボランティア活動への参加 (児童青少年課)	中・高校生ボランティアの参加を得る。また、ボランティア活動に参加しやすい環境を整え、子どもの参加意欲を高める。	中・高校生ボランティア登録・参加者数(人)	747	漸増 44	漸増 81	漸増	漸増	漸増	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										中・高校生ボランティア登録・参加者数(人) 81人 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容 新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、例年ボランティアを募集する事業が縮小して実施または中止となったため。希望があった場合は受け入れた。次年度も夏期クラブ等募集事業の実施によって、実績が左右される。	
	同(指導室)		ボランティアカードの小学校5・6年生及び中学生への配布	実施	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容											

のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)事業進捗状況評価表3(重点事業以外の事業)

2-2.子どもの体験活動を応援します

番号	事業名称 (担当課)	事業の内容	参考指標	実績	計画(年度)/実績(数値があるもののみ)						結果(年度)	
				H30	R2	R3	R4	R5	R6	R3		
1	子どもの体験事業 (公民館)	公園や市施設において「子ども体験講座」などを行う。 ※対象学年…講座による	子ども体験講座延べ参加人数(人)	146	維持 59	維持 66	維持	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
	同(生涯学習課)	※対象学年…小学3年生から中学3年生	清里山荘自然体験教室参加人数(人)	61	維持 中止	維持 70	維持	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
	同(経済課・農業委員会)	※対象学年…小学校による	学童収穫体験事業参加児童数(人)	1,713	維持 1,690	維持 1,763	維持	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
	同(児童青少年課)	※対象学年…小学1年生から小学6年生	わんぱく団活動参加人数(人)	76	維持 中止	維持 中止	維持	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
			わんぱく号参加人数(人)	351	維持 210	維持 291	維持	維持	維持	維持	わんぱく団活動参加人数(人) 0人 わんぱく号参加人数(人) 291人 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容 新型コロナウイルス感染症のため、わんぱく号は三密を避けるため、事前予約、定員制を取り入れた。	
	同(図書館)	※対象学年…小学5年生から中学3年生	小・中学生の1日図書館員・職場体験学習者数(人)	19	維持 5	維持 12	維持	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										小・中学生の1日図書館員・職場体験学習者数(人) 12人 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容		
2	各種スポーツ事業 (生涯学習課)	親や指導員も参加し、子どもとの交流を図れるよう「少年少女野球教室」「ジュニアサッカーフェスティバル」「親子体操教室」などを実施する。体育協会との連携により、少年少女スポーツ団体に対し、財政的支援を行う。	少年少女野球教室、ジュニアサッカーフェスティバル、親子体操教室、水泳教室などの延べ参加者数(人)	458	維持 119	維持 216	維持	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
			上記以外の新規プログラムの実施	検討	検討	検討	検討	検討	検討	少年少女野球教室、ジュニアサッカーフェスティバル、親子体操教室、水泳教室などの延べ参加者数(人)216人 新型コロナウイルス感染症の影響や施設の工事により一部事業を中止した。次年度も感染状況に留意しながら適切に進めていく。		

のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)事業進捗状況評価表3(重点事業以外の事業)

7	中高生の余暇活動支援 (児童青少年課)	中・高生世代の余暇活動を支援し、居場所と交流の場を提供する。	児童館夜間開館事業 延べ参加者数(人)	1,016	漸増 350	漸増 614	漸増	漸増	漸増	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
	バンド室利用延べ人数(人)		446	漸増 142	漸増 187	漸増	漸増	漸増	児童館夜間開館事業延べ参加者数(人) 614人 バンド室利用延べ人数(人) 187人 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容 新型コロナウイルス感染症感染対策のため、バンド室利用の人数制限等を行ったため、延べ参加人数が減少した。次年度も感染対策を実施しながら、段階的な拡充を目指す。		
	若者コーナー延べ参加者数(人)		350	維持 3,076	維持 97	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった	
	同(公民館)										若者コーナー延べ参加者数(97人) 予定どおりにいかなかった理由⇒コロナ禍であっても「学びを止めない」ために、参加人数の縮小という選択を取ったため。

のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)事業進捗状況評価表3(重点事業以外の事業)

	同(児童青少年課)	関する取組を行う。また、食育推進会議や食育推進検討委員会を開催し、事業の円滑な推進を実施する。	食事や栄養をテーマにした子育て相談会参加人数(人)	376	維持 159	維持 152	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
			乳幼児食事会参加人数(人)	1,937	維持 中止	維持 中止	維持	維持	維持	食事や栄養をテーマにした子育て相談会参加人数(人) 152人 料理教室参加人数(人) 430人(いもほり)	乳幼児食事会参加人数(人) 0人
			料理教室参加人数(人)	4,119	維持 217	維持 430	維持	維持	維持	予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、調理・飲食をすべての事業で中止とした。そのため、食育に関する講習会や相談会は、これまで一部の事業で行ってきた調理実習や試食は行わない形で実施した。次年度も感染対策を実施しながら、食育に関する取り組みを実施するが、調理・飲食を併わせることについては未定。	
	同(指導室)	食育年間指導計画を作成し、食育を推進している小中学校数(校)	14	維持 14	維持 14	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった	
			食育年間指導計画を作成し、食育を推進している小中学校数(14校) 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容								
同(学務課)		地場野菜を献立に取り入れた給食を実施している小中学校数(校)	14	維持 14	維持 14	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった	
		生徒及び保護者に食育の啓発をしている小中学校数(校)	14	維持 14	維持 14	維持	維持	維持	地場野菜を献立に取り入れた給食を実施している小中学校数(14校) 生徒及び保護者に食育の啓発をしている小中学校数(14校)		
9	小児医療の充実(健康課)	小児救急医療を確保し、充実を図る。また、休日準夜間診療の体制を維持する。	365日24時間の小児医療救急体制の確保	実施	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										365日24時間小児救急医療体制の確保ができた。 全体診療科20,975件、うち小児科4758(22.7%)	
10	育児に困難を持つ家庭への支援(健康課)	未熟児、多胎児、病氣を持つ子どもと保護者が、情報や手段が得られることで、育児の困難さを軽減できるように、家庭訪問などの継続的な個別相談や親子同士が交流できる場を提供する。	未熟児(病児を含む)、多胎児に対する新生児訪問実数(件)	14	維持 16	維持 22	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
			乳児・幼児に対する保健師訪問実数(件)	54	維持 116	維持 175	維持	維持	維持	未熟児に対する新生児訪問実数15件 多胎児に対する新生児訪問実数7件(児の数は14人) 乳児・幼児に対する保健師訪問実数175件(未熟児・多胎児を含む) 個別継続支援実施延べ数(件)698件	
			個別継続支援実施延べ数(件)	450	維持 428	維持 698	維持	維持	維持	予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容 令和4年度から多胎児家庭支援事業(移動経費補助)を開始し、支援を必要とする人に対し電話や訪問等により関わりを増やしていく。	
13	薬物乱用防止の普及啓発(健康課)	地域の関係機関との連携や支援により、思春期の子どもに対する啓発を行う。	東京都薬物乱用防止小金井推進協議会が行う啓発事業の支援	実施	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容 事業の大きな啓発イベントとしていた「青少年のための科学の祭典」及び「小金井なかよし市民まつり」が中止となった。今後も続くと思われるコロナ禍の状況でも啓発できる仕組み作りが課題。	

のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)事業進捗状況評価表3(重点事業以外の事業)

3-3.子育てに関する相談・支援、情報提供、学習機会を充実させ、支援を強めます

番号	事業名称 (担当課)	事業の内容	参考指標	計画(年度)/実績(数値があるもののみ)						結果(年度)	
				実績 H30	R2	R3	R4	R5	R6	R3	
3	育児支援ヘルパー事業(子育て支援課)	産前・産後の妊産婦を介助する方がいない家庭を対象に、ヘルパーを派遣し、母体保護及び子育てでの負担軽減を図る。	育児支援ヘルパー派遣件数(件)	34	漸増 41	漸増 67	漸増	漸増	漸増	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
			育児支援ヘルパー派遣時間数(時間)	523	漸増 717	漸増 1139.5	漸増	漸増	漸増	育児支援ヘルパー派遣件数(件) 67件 育児支援ヘルパー派遣時間数(時間) 1139.5時間 予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	
4	子育て施設の地域支援事業(保育課)	保育所での電話相談や園庭開放、園行事への参加など地域の子育て支援を行う。また、学童保育所では空き時間を利用して子育てでひろば事業を実施する。	相談園数(園)	36	漸増 13	漸増 13	漸増	漸増	漸増	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
			園庭開放実施保育園数(園)	10	維持 7	維持 12	維持	維持	維持	相談園数(園) 公立5園 民間8園 園庭開放実施保育園数(園) 公立5園 民間7園 ※民間保育園については、回答を得た園の内容について記載。	
	同(児童青少年課)	子育てひろば事業(学童ひろば)の実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった	
5	民生委員・児童委員(地域福祉課)	子どもや妊産婦、ひとり親家庭などの総合相談、利用できる制度や施設、サービスの紹介、判断、治療、処遇を必要とする問題については、関係機関との連携を図りながら速やかな対応を行う。	子ども関係相談・支援件数(件)	760	維持 350	維持 360	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										子ども関係相談・支援件数(件)360件 新型コロナウイルス感染症拡大防止により、相談件数は少ない状況であったが、今後も引き続き感染症対策を徹底し、活動を継続する。	
6	子育ての仲間づくり事業(児童青少年課)	孤立化を防ぎ、仲間づくりを促進するため、親子のふれあい、親同士、子ども同士の交流を促進する。	幼児グループの実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
										予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	
7	子育て講座の開催(生涯学習課)	妊娠、出産から思春期の家庭教育まで、ライフステージに応じた子育てなどに関する知識の普及や情報提供、保護者同士の交流や仲間づくりなどを行う。	思春期子育て講座の実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
			家庭教育学級の実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続	予定どおりにいかなかった理由及び次年度に向けての課題、検討内容	

のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)事業進捗状況評価表3(重点事業以外の事業)

5-2.子どもが地域の一人となるための学習と交流の場をつくります

番号	事業名称 (担当課)	事業の内容	参考指標	計画(年度)/実績(数値があるもののみ)						結果(年度)	
				H30	R2	R3	R4	R5	R6	R3	
1	異年齢交流 (保育課)	小・中・高校生が乳幼児とのふれあいを通して、社会体験学習と育児感覚を身につけたり、子どもが地域の大人と交流できる場を設ける。	職場体験受入園数(園)	16	漸増 8	漸増 11	漸増	漸増	漸増	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
			ボランティア受入園数(園)	15	漸増 8	漸増 11	漸増	漸増	漸増		
			世代交流イベント実施園数(園)	12	漸増 8	漸増 9	漸増	漸増	漸増		
	同(児童青少年課)		乳幼児とのふれあい事業での保育ボランティア参加者数(人)	19	維持 中止	維持 中止	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
			赤ちゃんと異世代交流事業延べ参加者数(人)	19	維持 中止	維持 中止	維持	維持	維持		
			おもちゃ病院開設回数(回)	32	維持 23	維持 31	維持	維持	維持		
2	子どもが参加できる行事の促進 (児童青少年課)	子ども週間行事や市民まつり等を通じて、地域住民や各種団体の協力を得ながら、健全な遊びや学びの場を設け、子どもの創意工夫による地域活動を促進する。	子ども週間行事参加者数(人)	2,917	維持 中止	維持 中止	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
			市民まつり参加者数(人)	2,882	維持 中止	維持 中止	維持	維持	維持		
	子ども関連行事の後援・共催等(件)		—	維持 25	維持 6	維持	維持	維持			
3	各種催し物における、中高生ボランティアの受入 (児童青少年課)	市民まつりや子ども週間行事などで中高生ボランティアの受入を実施する。	子ども週間行事受入者数(人)	177	維持 中止	維持 中止	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
			市民まつりボランティア受入者数(人)	42	維持 中止	維持 中止	維持	維持	維持		
4	地域諸団体への活動支援 (児童青少年課)	青少年健全育成地区委員会や子ども会などの地域諸団体に対し、活動支援を行う。	補助金交付事業実施団体数(団体)	7	維持 7	維持 7	維持	維持	維持	予定どおりに進んだ	予定どおりにいかなかった
			補助金交付事業実施団体数(団体)	7	維持 7	維持 7	維持	維持	維持		